

会 議 録

1 会議名

令和7年度 第2回上越市スポーツ推進審議会

2 議題（公開・非公開の別）

第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の取組状況

(1) 取組 4-1 スポーツ活動の充実【資料1】（公開）

(2) 取組 4-2 スポーツ環境の充実【資料2】（公開）

3 開催日時

令和7年12月1日（月）午後1時30分から

4 開催場所

上越市教育プラザ 研修棟 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委 員：周東委員長、佐藤副委員長、中静委員、國弘委員、中澤委員、竹内委員

・事務局：スポーツ推進課 石田課長、佐々木副課長、柏村係長、高橋係長、池田主事
地域クラブ活動推進室 市川室長
学校教育課 萱森指導主事

8 発言の内容

○議題 第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の取組状況

(1) 取組 4-1 スポーツ活動の充実

資料1に基づき事務局が説明

(2) 取組 4-2 スポーツ環境の充実

資料2に基づき事務局が説明

中静委員： スポーツ活動普及推進の成果指標について聞きたい。市内の特定検診診断結果とあるが、どれくらいの人を対象となるのか教えてほしい。

事務局： 市内の 40 歳以上 74 歳以下のすべての国民健康保険や健康保険組合などの医療保険に加入している方を対象としている。

中静委員： ユートピアくびきふれあいグラウンド人工芝改修工事が完了したと同時に、子供たちが雨も降る中でも必死に練習している姿をよく見ている。非常にきれいに整備していただき感謝をしている。一方で、今泉多目的広場にもサッカー場があると思うが、あまり利用している姿を目にすることがない。施設ごとの利用者数に差があるのか。また、利用状況について、教えていただきたい。

事務局： 施設ごとに利用者数の差はある。サッカー場では、 ユートピアくびきふれあいグラウンドが人工芝で、ナイター照明を完備していて利用が多い一方、今泉多目的広場は、土のグラウンドでナイター設備もないことから利用が少ない状況である。また、各区にある野球場やテニスコートについては、利用率が減少傾向にある。

周東委員長： 40 歳以上の特定検診のアンケート結果の回収率について知りたい。

事務局： 健康診断を受診する際に、保健師による特定保健指導時にアンケート結果の確認を行うため、回収率は高いと聞いている。

周東委員長： 特定健康診断の際のアンケート結果であるため、10 月末時点の数値が今年度の数値になるという理解でよいか。

事務局： 多少の増減はあると思うが、数値に大きな変動はないと見込んでいる。

佐藤委員： 国民健康保険は、1 月末まで健康診断を実施していることから、最終的には数値が上がってくると思われる。

周東委員長： これまでの傾向として、数値は横ばいなのか、または減少なのか。

事務局： 減少傾向にある。

○その他

地域クラブ活動整備の現状・課題、今後の方向性について（地域クラブ活動推進室）
資料に基づき説明

周東委員長：「展開」「調整」「改善」が必要だという説明であったが、「調整」や「改善」を行う担当者は、コーディネーター役の方なのか知りたい。

地域クラブ活動推進室：取組の全体を統括するのは地域クラブ活動推進室になるが、スポーツ関係団体であればスポーツ推進課が関わり、文化芸術の関係団体であれば、社会教育課または文化振興課となる。また、学校と連携し、新しい環境整備を行うことから、学校教育課も関わりを持つことになる。コーディネーターは、現在、スポーツ推進課に2人、社会教育課に1人配置しているが、コーディネーターだけが進めていくのではなく、地域や学校の意見をお聞きしながら、関係各課で連携して進めていく。

周東委員長：地域クラブ活動推進室がコーディネーター役となり、個別に支援することと、3人のコーディネーターの役割は同じ意味か。

地域クラブ活動推進室：同じ意味を指している。

周東委員長：体育やスポーツの学会でも、学校部活動の地域展開は話題になっており、これまで多くのシンポジウムが開かれていたり、意見交換が行われている。私もシンポジウムの企画者の1人として関わったことがあるが、色々な地域スポーツの研究をしている研究者が、スムーズに地域展開が進んでいる自治体の特徴として、コーディネーターの存在がすごく重要だと発言していた。先ほど、地域クラブ活動推進室の説明をお聞きして、非常に私自身の中で、その発言と一致してきて、上越市は非常によく進めていると感じた。大変な作業だと思うが、引き続きコーディネーターを中心に連携して進めていただきたい。

佐藤委員：認定地域クラブについては、競技力向上が主目的になっていないと思われるため、スポーツ競技力の向上について、指標を見直す考えはないか。

事務局：中学校部活動の地域展開に伴い、中体連の大会が今後どのように進んでいくのかを見極める必要があると考えている。今後、大会が減少するようなことがあれば、指標についても必要に応じて見直していきたい。

國弘委員：国が定めた方針に伴い、上越市がこれまで部活動の地域展開の取組を進めてきていると認識しているが、できるだけ早く地域に上越市はこのような進めていくといった方針を説明し、保護者や子供たちが、よりイメージしやすいシステムを構築して欲しい。制度設計を検討している間に、子供たちは成長してしまう。今後、教育委員会と中体連が整合を図っていくことができるのか教えて欲しい。

地域クラブ活動推進室：現在、国の有識者会議において、次年度以降、どのように進めていくかを検討しており、国で新たに認定制度を作成することになっている。当市においても、国の動向を注視し、新たなガイドラインの骨子に沿った、制度設計を検討していきたいと考えている。

周東委員長：先ほどの中体連の関係については、部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドラインの骨子の８ページ「生徒の大会等の参加機会の確保」につながるものと考えてよいか。

地域クラブ活動推進室：国の有識者会議においても、そのように説明があった。詳しくは、骨子だけではなく、スポーツ庁のホームページ等にも国の有識者会議の資料等が掲載されているのでご覧いただきたい。

周東委員長：今後も保護者や子供たちが困ることがないように、地域クラブ活動推進室が中心となって取組を進めていただきたい。

國弘委員：スポーツ少年団は、小学生から高校生まで対象としており、合同で活動をしていることから、中学生だけを区別して認定制度を運用している部活動の地域展開が、我々の活動に合っていないことから質問した。誤解のないようにしていただきたい。

地域クラブ活動推進室：スポーツ少年団のように小学生から高校生まで一貫した指導体制

の考え方について、当市も同じような考え方を持っている。しかし、全国的に進めている地域展開については、中学生を主な対象としていることから、少し困惑されていると思うが、丁寧に進めていきたいと思うので今後も協力をお願いしたい。

9 問合せ先

教育委員会事務局 スポーツ推進課 企画推進係

TEL：025-545-9246（内線 2790）

E-mail：sports-k@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。